



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年2月3日

上場会社名 株式会社 ZOA

上場取引所 東

コード番号 3375 URL <http://www.zoa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 伊井 一史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 安井 明宏

TEL 055-922-1975

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	7,115	3.7	444	0.2	450	0.5	313	1.6
2022年3月期第3四半期	6,861	3.4	443	10.7	448	11.1	308	10.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	215.44	
2022年3月期第3四半期	211.99	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	5,391	2,676	49.6
2022年3月期	5,373	2,429	45.2

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 2,676百万円 2022年3月期 2,429百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		50.00	50.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,700	0.9	537	6.4	543	6.3	370	6.9	254.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P.6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	1,454,000 株	2022年3月期	1,454,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	株	2022年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	1,454,000 株	2022年3月期3Q	1,454,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う行動制限の緩和や政府による観光支援策の効果により経済活動に回復の兆しが見え始めた一方で、エネルギー・原材料価格の高騰や急激な円安により、消費者の生活防衛意識が高まる先行き不透明な状況が続いております。

当社が属するパソコン市場においては、コロナ禍において需要拡大した一般用途パソコンの反動減により販売が厳しい状況が続いております。その一方でeスポーツ向けゲーミングパソコンは好調に推移しております。特にハイスペックな物の人気が高く、平均単価が前事業年度に比べて10.2%伸長したことにより、パソコン本体の売上高は前事業年度を超える実績となっております。その他、ゲーミングモニター、デバイス及びゲーミングチェア等の品揃えに力を入れております。さらに販売員に対しては専門店としてeスポーツの知識教育を行い、スタッフ自らのeスポーツ経験談を交えた提案ができること等により、販売競争力の優位性を高めております。

また顧客ニーズに合わせたサポート事業については、これまでの初期設定を中心とした作業は引き続き好調に推移しております。加えてお客様のご自宅にお伺いし、設定作業を行う出張サポートの需要も高く、これらは売上が厳しい中で収益の向上に貢献しております。

その他、静岡県内においては県立高等学校向けGIGAスクール構想を実現するための導入支援として、生徒向けのパソコン販売にも取り組んでおります。

一方、前年度に好調であったグラフィックボードは、マイニング等のニーズ減退により大きく売上高が減少しました。さらに年末商戦における家庭用プリンター及びインクの販売不振、今秋からの相次ぐサプライ用品値上による販売減少が大きく売上高へ影響しました。

以上の結果、パソコン事業全体の売上高は3,881,135千円(前年同期比6.3%減)となりました。

バイク事業においては、前年度に好調であった冬物商材の販売不振、及びインカム等の高単価商材の供給不安定により、売上高に大きく影響しました。

その結果、バイク事業全体の売上高は231,994千円(前年同期比13.6%減)となりました。

インターネット通信販売事業においては、2023年1月25日に「楽天ショップ・オブ・ザ・イヤー2022」のジャンル賞(エンタメ・家電部門)を受賞しました。主力のパソコン・周辺機器だけでなく、ゲーム実況等で使用される音響機材、家具・インテリア商品も実績拡大に寄与しました。またバイク用品の売上高も引き続き好調に推移しており、特にヘルメットやツーリングバッグ等の販売が好調でした。今後は全ジャンルでの出品アイテム数の増加、及び顧客サービス向上に取り組んで参ります。

以上の結果、インターネット通信販売事業の売上高は2,826,433千円(前年同期比16.2%増)となりました。

その他、不動産事業の売上高は175,765千円(前年同期比811.6%増)となりました。当期より新たに立ち上げた不動産取引事業、及び継続して取り組んでいる不動産賃貸業ですが、業績に対する貢献度が高まっております。

経費に関しては、電気料金の高騰により光熱費が増加しており、収益を圧迫しております。その他にも物価高騰の影響等により、経費は増加しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績については、売上高7,115,328千円(前年同期比3.7%増)、経常利益450,709千円(前年同期比0.5%増)、四半期純利益313,264千円(前年同期比1.6%増)となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症に伴う当社の業績に関して、現時点においては収束時期を確実に見通せる状況にありませんが、各店舗における感染防止対策の徹底により現時点で当事業年度における影響は軽微であります。今後、感染拡大により臨時休業や営業時間の短縮等が余儀なくされた場合には、売上高が減少して業績に大きな影響が出る可能性があります。その他、サプライチェーンに影響が出た場合、当社の想定通りに商品調達ができなくなることで売上高が減少する可能性もあります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて17,295千円増加し、5,391,093千円となりました。その主たる要因は、商品が400,774千円、土地が83,678千円それぞれ増加し、現金及び預金が268,817千円、売掛金が213,274千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債については、前事業年度末に比べて229,516千円減少し、2,714,764千円となりました。その主たる要因は、買掛金が110,089千円、長期借入金が84,202千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産については、前事業年度末に比べて246,811千円増加し、2,676,329千円となりました。この結果、当第3四半期会計期間末における自己資本比率は49.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました「2022年3月期 決算短信」に記載した業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,173,620	904,803
売掛金	636,911	423,636
商品	1,708,778	2,109,553
販売用不動産	—	72,047
その他	176,230	158,009
貸倒引当金	△2,833	△1,414
流動資産合計	3,692,707	3,666,637
固定資産		
有形固定資産		
土地	859,758	943,436
その他(純額)	199,540	183,053
有形固定資産合計	1,059,298	1,126,489
無形固定資産	17,015	16,550
投資その他の資産	604,775	581,416
固定資産合計	1,681,090	1,724,456
資産合計	5,373,798	5,391,093
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	952,136	842,047
1年内返済予定の長期借入金	571,674	476,610
未払法人税等	76,935	70,949
賞与引当金	31,077	13,136
契約負債	265,717	278,987
その他	156,233	131,562
流動負債合計	2,053,775	1,813,293
固定負債		
長期借入金	785,500	796,362
長期未払金	4,133	4,133
退職給付引当金	100,872	100,975
固定負債合計	890,505	901,470
負債合計	2,944,280	2,714,764
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	331,986	331,986
資本剰余金	323,753	323,753
利益剰余金	1,774,117	2,014,681
株主資本合計	2,429,857	2,670,421
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△339	5,907
評価・換算差額等合計	△339	5,907
純資産合計	2,429,517	2,676,329
負債純資産合計	5,373,798	5,391,093

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	6,861,814	7,115,328
売上原価	5,067,642	5,219,596
売上総利益	1,794,172	1,895,732
販売費及び一般管理費	1,350,720	1,451,599
営業利益	443,452	444,133
営業外収益		
受取手数料	6,463	5,091
その他	1,596	4,369
営業外収益合計	8,059	9,461
営業外費用		
支払利息	2,961	2,884
その他	51	0
営業外費用合計	3,013	2,885
経常利益	448,498	450,709
特別利益		
固定資産売却益	341	2,287
特別利益合計	341	2,287
特別損失		
減損損失	4,300	—
特別損失合計	4,300	—
税引前四半期純利益	444,539	452,996
法人税等	136,297	139,732
四半期純利益	308,241	313,264

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。